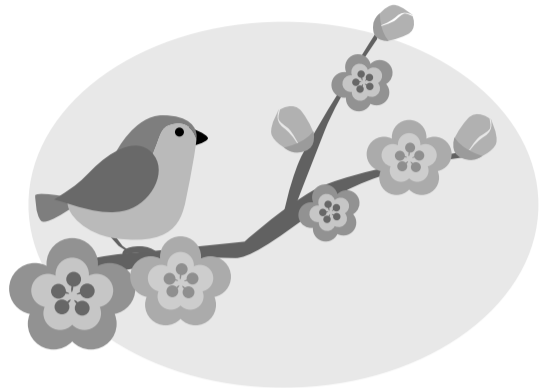


よしかわ通信



りん どう
凛 道



発行

高萩市議会議員

よし かわ どう りゅう
吉川道隆

高萩市安良川686

TEL 0293-24-0833

FAX 0293-22-3340

ホームページ <http://www.douryu.net>

E-mail info@douryu.net

頌春の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は、ひとかたならぬご指導を賜り、厚く御礼申し上げます。

年の世相を漢字1文字で表す「今年の漢字」は「新」だったそうです。清水寺で森清範貫主が揮毫（きごう）しました。理由には、鳩山新内閣誕生や新型インフルエンザ流行、米大リーグ・イチロー選手の9年連続200安打の新記録、米国のオバマ新大統領の就任などが挙げられたそうです。

高萩市でも新型インフルエンザによる影響は大きく、各学校では、学級および学年閉鎖が相次ぎました。予防接種の補助など市としても対応していましたが、他市町村では、個人で病院へ出向くのではなく、学校での集団接種を行ったところもありました。患者との接触を防ぐこと、少しでも

多くの方に予防接種を行ってもらうことによって全体としての蔓延が防げることを考えると、高萩市でも集団接種を進めるべきだったのではと思います。来年以降は検討すべきではないかと感じました。

平成21年12月議会

高萩市ごみ処理計画について

今回、提案された議案の中で、「広域ごみ処理を目指したいので、**広域の相手は示さずに経過期間暫定的処置として5年間の民間委託、8億8,700万円の債務負担行為を認めてほしい**」というものがありました。

しかし、目指したいはずの広域ごみ処理は一体、どこに頼むつもりなのでしょう。近隣で考えられるのは、北茨城市か、日立市だが、御存じのとおり、北茨城市とは、以前に広域ごみ処理施設建設の計画があったのを高萩市の事情で計画中止になった経緯があるし、日立市に対しては、処理委託を今回お断りしてきたばかりなのです。

現在、委託処理している、可燃ごみ処理の業務の委託経費を、民間業者の提示したものと、日立市が提示したものを比べた場合、年間1,290万円も民間業者の方が安かったため、今まで日立市に委託していた業務を民間に委託するということでした。確かに財政健全化をやっているから、少しでも経費のかからないようにということもわかります。しかし、つい先日まで、「可燃ごみ処理は、いくら安くても信頼と安定を考えて、あくまでも行政で」という強い姿勢だったにもかかわらず、また、議会は5年間、日立市に委託していくものと認識し、それを続行していくものと信じていたのに、急に方向転換、しかも、**議会には事前に相談も説明もなく、「日立市にはお断りしてきた**」ということに大変驚きました。

さらに、この議案「5年間は民間に処理を委託する」とあるものの、広域の相手も何も現実的に全く白紙の状態であるのにも関わらず、市長選を目前に控えた今、先の5年間まで決めてしまうということは考えられません。

こういう議案は、出すべきではないという意味から、私は、賛成も反対もしないで退席いたしました。結果は賛成少数で否決となりました。

次期市長には、次の4年間で、具体的に、高萩市のごみ処理の方向性を示していただきたいと思います。

議 案 質 疑

県北医療センター(高萩協同病院)に対する補助金について

平成21年8月のJA厚生連から、新たな医師確保に伴う財政支援の要望書を受け、今回の議案として、平成22年度から5年間、総額で9千万円の運営補助金を出すということがあげられた。

質問 今回の債務負担で、協同病院において、医師を確保するためとはいえ、総額で9千万円、どうして高萩市がこんなに出さなければいけないのか？

今まで、公的病院ということで、建設費5億円、土地代約11億2千万円、5年間にわたる運営費の補助で8千万円も出し、合計約17億円にもなる。新しく建てて軌道に乗るまで補助したのだから、あとは病院側で努力するのが当たり前。出す必要があるのか？厚生連の代表理事専務を始め、厚生連側は、県内6つの協同病院は一体だということを何度も言っていた。確かに高萩市の協同病院は赤字かもしれないが、県内にある厚生連の他の病院の合計では、平成20年度の累計で96億円も黒字になっている。(別表参照)

県北医療センター高萩協同病院剰余金の推移

年 度	高 萩		合 計	
	当 期	累 計	当 期	累 計
平成16年度	△177,045	△1,747,787	596,280	9,286,946
平成17年度	△724,560	△2,472,347	229,710	9,516,657
平成18年度	△1,617,097	△4,089,445	△1,005,043	8,511,614
平成19年度	△848,516	△4,937,961	652,360	9,163,974
平成20年度	△877,615	△5,815,577	449,444	9,613,418

※平成18年度は高萩協同病院新設

普通は、企業などでも必ず黒字部門と赤字部門があって、赤字部門を黒字部門で補っているのが普通。県内の6つの病院は一体だと言うのなら、全体的にみて、厚生連の県内の病院経営は黒字なのだから、それでいいのではないのか？

現在、高萩市は非常に大変な状況で、住宅公社の問題により、22年度、23年度は、さらに予算を組むのが大変になる。市民みんなが協力して我慢している。それなのに新聞報道で、市長は「市民は納得してくれる」と言っていたが、黒字団体の厚生連に補助金を出すことに対して、本当に納得してくれるのか？

市長答弁▶ 医師確保のために行政が果たすべき役割だと思っている。医師がこななければ出さないのだから、安心感を得るためなら納得してもらえと思っている。経営自体は厚生連だから、市の政策意思が貫徹できないのは理解していただきたい。

質問 一般の企業でも、経営が苦しいなら、企業努力で人員削減、経費節減などにより、立て直しを図るもの。高萩協同病院において、企業努力はしたのか？患者さんが安心してかかれる病院づくりの為の努力はしてきたのか？市民病院的な役割を果たして医師確保を目的として、行政から補助を出しているというようなところは他にあるのか？

市民生活部長▶ 運営費の補助と今回の助成措置は性質的に異なることを理解してほしい。常総市にある病院に対し、MRI等の機器の導入のために補助を出しているところはある。経営努力について市としては把握できない。9千万円の根拠は、平成20年分の医師、1年間勤務した7名分の平均支給年額を参考にして提案したものである。

質問 10月から、薬の院外処方をやめて、院内処方に切り替えた。当初は3千万円くらい収益が増えると言われた。現在の国の施策とは、逆行するかたちで、院外から院内に切り替え、市内の調剤薬局や、門前に入札により高額で土地を求めた調剤薬局に影響することもわかっている、それでも進めた。病院の中の薬剤師の数を増やし、その人件費を考えても院内で調剤してどれほどのメリットがあったのか？

バスについて、今、高萩市では、やすらぎの丘温泉病院、それいゆ病院、高萩クリニック等、おもな病院では、バスの送迎をやっている。そのおかげで、患者さんは車の運転のできない高齢者でも病院に通うことができる。ところが、厚生連側は、取手市でまわりの病院に「患者を全部とってしまう」と反対されたからと言って、高萩市でもバスの送迎をやらないことにしたそうだが、地域が違えば、状況も違うから、高萩市の場合は、患者さんのためには必要だと思う。地域に合わせた、そういった努力工夫もしないで補助金のお願いばかりでは、どうか？

市長答弁▶ 医師が増えれば、患者さんも増える。診療報酬も上がるから、病院の経営面で助かる。市としては医師の確保が市民の安心安全につながると考えている。協同病院の受け入れがちょっとどうだということも聞いているので、その辺の改善を働きかけていきたい。

意見 せっかく、病院を構えていただいなら、もっと高萩市に合ったやり方で、高萩市に密着して考えていただきたい。市内の薬局に不利益をもたらすことをわかっていながら、自分の病院の利益だけ求めるようなことをせずに、また、市内の交通事情を理解して、患者となる人の年齢層や状況を考えていただければ、相互理解のもと、もっとお互いにうまくやっていけると思う。共存共栄、高萩市は苦しくて、病院の補助を出したくてもそればかり出すわけにはいかない。思いやりの気持ちをもって、歩み寄りをしていただきたいと思う。

一 般 質 問

公立幼稚園の三年保育について

質問 昨年、陳情として「延長保育」と「三年保育」の実施が出され、採択され、延長保育は21年度より実施されているが、三年保育については実施される様子はない。どのように検討されているのか？ 延長保育が実施されるようになったにも関わらず、園によっては、来年度の入園希望者はさらに減っているところもある。かなりの数で北茨城市や日立市の私立に流れている。三年保育の実施だけが理由ではないが、少しでも公立離れを防ぐためには利用者のニーズに応えるということも考えていかなければならない。

私立のキリスト幼稚園が来年度から三歳児の募集をせずに、今の在園児が卒園したら閉園するので高萩市では三年保育の幼稚園はゼロになる。公立幼稚園がこのまま、園児数が少なくても、統合、廃園に追い込まれる。公立離れを防ぐためにも、三年保育を早急に考えてはどうか？

教育長答弁▶ 21世紀高萩ビジョンの次世代萩っ子輩出事業の中で、平成22年度から、まずは一園で、3歳児保育の実施に向け進めている。

質問 私立幼稚園に出している多額の補助金、キリスト幼稚園が高萩市から、なくなったときには、市外の私立幼稚園のためだけに補助金を払うようなものだし、私立に対する補助金を出すかどうかは、市町村の任意でいいのだから、検討すべきではないか？ 放課後子どもプラン等にまわせばいいと思う。

教育長答弁▶ 就園奨励費は、市内に私立幼稚園のない常陸太田市や鉾田市では実施していないので、現在見直す方向で検討している。

質問 延長、預かり保育をしている茨城県内の公立幼稚園の3分の2は、当園職員以外に、特別に雇い入れた職員がいる。高萩市では、現場の先生だけがみていて延長保育のための雇用はない。次年度はどうなるのか？

教育長答弁▶ 延長保育を実施後、意見を聴取している。他市町村の状況を調査していく予定。

放課後子ども教室について

質問 平成19年度から始まった、すべての児童を対象に、さまざまな体験活動を行う「放課後子ども教室」。その実施率は全国で平均38.5%、茨城県では21年度で36市町村、全体の37.1%の小学校で実施されている。地域の方々との交流活動、スポーツや文化の体験活動、授業の予習復習などが行われ、学校の授業だけでは教えられないことを学べる貴重な場となっている。少子化や、治安の問題から、子どもたちが外でのびのび遊ぶことが出来なくなった現代、学年の違った仲間と遊んだり、地域の人々と交流したりする機会がどうしても少なくなった。この放課後子ども教室に参加することで、放課後に学年の違う子どもたちとのびのび遊んだり、地域の人たちと活動したりすることで、人との付き合い方を学び、そして、自分の考えをしっかりと伝える子どもたちを増やしていくことが期待されている。前回、地域の子供会の存続が難しくなっていることを指摘したが、こういった活動が行われることで、子供会の存在に変わるものではないかと思う。学校での活動だから安心だし、子どもたちも色々な体験をすることができる。早急に検討してほしい。

教育長答弁▶ 高萩市放課後児童対策検討委員会で検討したところ、指導員などの人材不足と財源不足の課題があるので、放課後子ども教室としてではなく、**放課後児童クラブの対象年齢拡大をし、将来的に全児童を対象とした施策を講じること**となった。今、構想しているのは、22年の1月から、県北生涯学習センターの協力を得て放課後サイエンス・キッズ・サテライト教室を実施しようとしている。市内の小学校において、放課後または週末に月一回程度の理科実験教室等を行うというもの。

放課後子ども教室を実施している市町村（○は実施している）

水戸市		北茨城市		筑西市	○	大洗町	○
日立市		笠間市	○	坂東市	○	城里町	○
土浦市	○	取手市	○	稲敷市	○	東海村	○
古河市	○	牛久市	○	かすみがうら市		大子町	○
石岡市	○	つくば市	○	桜川市	○	美浦村	○
結城市	○	ひたちなか市		神栖市	○	阿見町	○
龍ヶ崎市	○	鹿嶋市	○	行方市	○	河内町	○
下妻市	○	潮来市	○	鉾田市	○	八千代町	○
常総市	○	守谷市	○	つくばみらい市		五霞町	
常陸太田市	○	常陸大宮市	○	小美玉市	○	境町	
高萩市		那珂市	○	茨城町	○	利根町	○

放課後子どもプランにおける補助金は、国、県、市町村がそれぞれ1/3を負担する。活動の材料費と保険料は、保護者から徴収している。市の予算としてはそれほどかからず、地域の子供たち、住民の方々にも得るものは大きい。県北ではまだあまり進んでいないので、高萩市でいち早く取り入れていただきたい。

吉川の 考察▶

今回の議案第79号、一般会計補正予算については、高萩中学校体育館改築事業、災害対策用備品購入費・民間保育所低年齢児保育体制緊急整備事業など、通さなければいけない大切なことがあり、これらの事業に関してはすべて賛成なのですが、**協同病院に補助金を出すことに関してはどうしても納得できなかったため、反対しました。**医師の確保は、今やどこでも頭を抱える大きな問題となっています。どうして、こんなに医師不足となるのでしょうか？その理由としてよく挙げられるのが、大学医局制度の崩壊と開業する医師の増加、それに新しい研修制度、加えて、女性医師の増加に対して子育て支援等の不足から辞めてしまうことが多いことなど様々な要因があるようです。そういうことは、地方の行政でどうにかなることではないので、何ともできませんが、長い目で見て、**高萩市出身の医師を増やして地元に戻ってきてもらうことを約束して、医学部進学のための奨学金を出す制度を考えると、小中学校において医療関係の重要性を教えるような講座を設けるとか、これからの将来を支える子どもたちに対し働きかけていくしかないのかな**と考えます。いろんな意味で子どもたちの教育はやはり、大切なことだと感じております。